

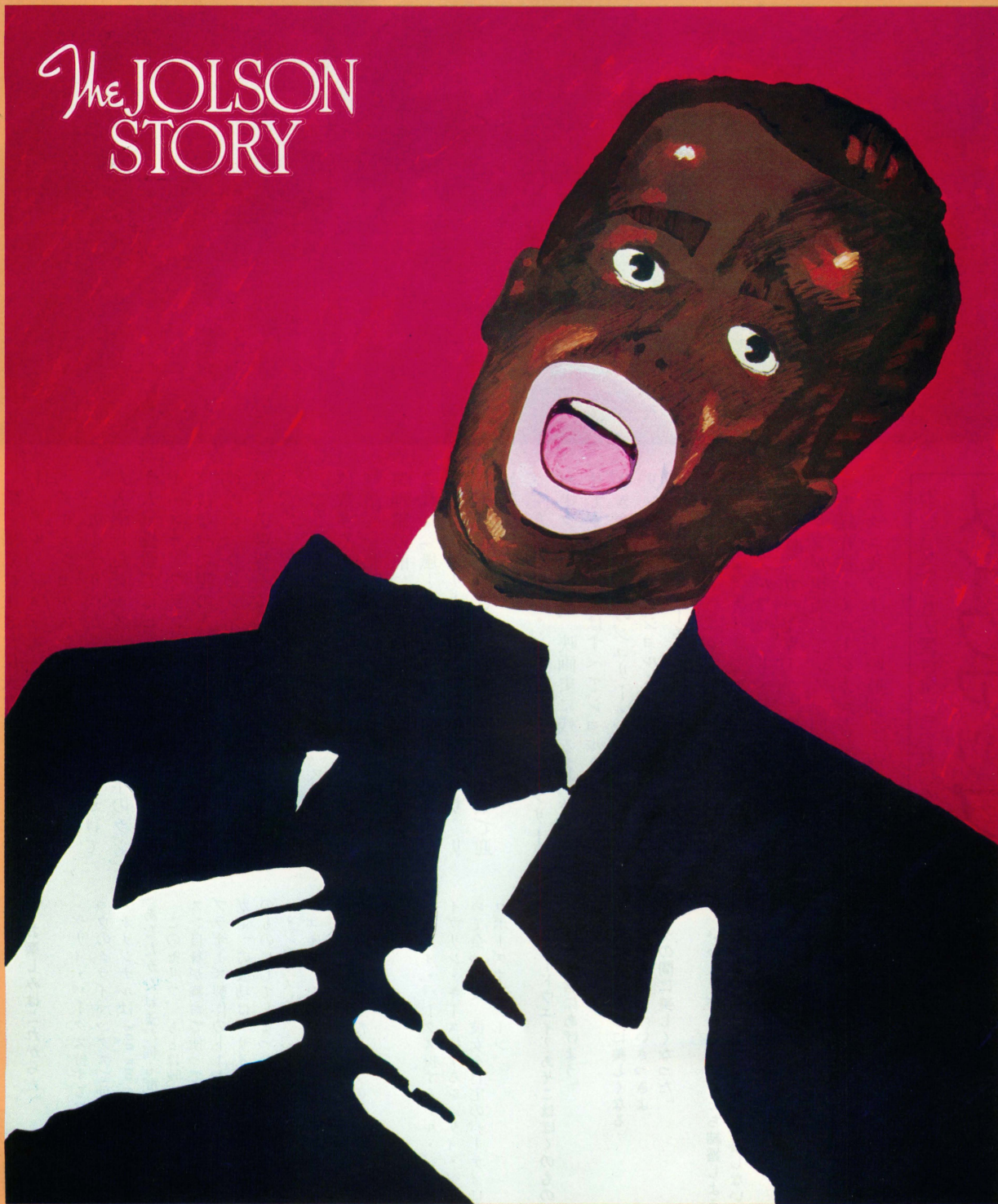
ラリーパークス
イヴリン・キース
ウィリアム・デマレスト

主題歌・MCAレコード

提供・インターナショナル・プロモーション

お楽しみはこれからだ!

The JOLSON
STORY



ブロードウェイ? あそこはぼくのものだ。欲しければ君にあげよう。

歌に生き、喝采に生きた男をめぐる愛と友情

ジョルソン物語

製作=シドニー・スコルスキー 監督=アルフレッド・E・グリーン 音楽監督=モリス・W・ストロフ

テクニカラー

アカデミー録音賞ミュージカル音楽賞

ジョルスン物語

★スタッフ

製作.....シドニィ・コロスキー
 監督.....アルフレッド・ヒッチコック
 脚本.....ステイーヴン・モリス
 音楽.....ジョセフ・ウォーカー

★キャスト

アル・ジョルスン.....ラリー・パークス
 ジュリー・ベンスン.....イヴリン・キース
 ステイーヴ・マーチン.....ウィリアム・デマレスト
 パパ.....ルドウィグ・ドナース
 ママ.....タラ・シェン

＜挿入歌＞
 『アニヴァーサリー・ソング』
 『スワニー』
 『エイプリル・シャワー』
 『マミー』他21曲
 ＜MCAレコード＞

提供 インターナショナル・プロモーション

■解説

歌と喝采に生きた偉大なエンターテイナー、アル・ジョルスンが甦えった。

アル・ジョルスンとは……

一九一〇年代から一九五〇年代にかけて大活躍したジャズシンガー。四七年のラジオ人気投票ではビング・クロスビー、ペリイ・コモ、フランク・シナトラを抜いて一位になった程の人気歌手だった。日本でも彼のショウビジネスに対する情熱に感動して、芸能界をこころざした人も少なくない。

「ジョルスン物語」とは……

「アニヴァーサリー・ソング」の「スワニー」他数多くのヒット曲に彩られた愛と感動の物語。一九四六年のアメリカ公開時には、映画館の前に朝七時から長蛇の列ができた。これは「風と共に去りぬ」以来の出来事だった。アメリカ建国二〇〇年祭のおり、リバイバル公開され、若者に圧倒的人气で迎えられた。

主人公のアル・ジョルスンには、ラリー・パークスが扮し、映画史に残る名演技を見せてくれる（歌はすべてジョルスン自身の吹き替え）。妻のジュリー・ベンスンにイヴリン・キース。ジョルスンのマネージャー、ステイーヴ・マーチンに扮したウィリアム・デマレストは、この演技でアカデミー助演男優賞にノミネートされた。

監督はアルフレッド・E・グリーン。音楽監督は「カバール」のモリス・W・ストロフが担当している。四六年のアカデミー録音賞・ミュージカル音楽賞受賞。テクニカラー 上映時間 二時間八分

和田誠

「お楽しみはこれからだ」
 （文芸春秋刊）より抜粋

『お楽しみはこれからだ』

ラリー・パークス扮するアル・ジョルスンがショウのクライマックスで使う言葉。

オリジナルは you ain't heard nothin' yet!、
 「あなたがたはまだ何も聞いてない」

このセリフ、もとは映画のものでなく、ジョルスン自身が舞台で使っていたものだ。ワーナー・ブラザー製作のトーキー第一作「ジャズ・シンガー」の成功は、サイレント映画をたちまち過去のものにしてしまったが、この映画に主演したアル・ジョルスンは「ダーティ・ハンド・ダーティ・フェイス」を唄い終ると wait a minute, wait a minute, you ain't heard nothin' yet! と言った。映画が発したセリフの第一声となったのである。

ラリー・パークス扮するアル・ジョルスンが、イヴリン・キース扮するジュリー・ベンスンに初めて会った夜、彼女を自宅のパーティーに招いてプロポーズするシーン。

『ブロードウェイ？あそこはぼくのものだ。欲しければ君にあげよう』

『君は会うたびに美しくなる』

『会ったのはついさっきよ』

『その間に美しくなった』

『いいことがある。ぼくたち結婚しよう』

『もっといいことがあるわ。結婚しないでおきましょう』

トーキー第一作に出演を依頼される。マネージャーは、そんな冒険にスタアを貸すわけにはいかん、と言う。が、ジョルスンは映画製作者にたずねる。

『映画の観客はどのくらいだろう？』

『少なくとも五千万』

『それは未曾有の聴衆だ』

かくてトーキーは開幕したのである。

★10月下旬ロードショー公開！

有楽町前日劇
 ニュー東宝シネマ2 (571) 1947

●音協11月例会作品特別鑑賞券850円(当日・一般) 1300円の処

■時間■
 連日 11:20 1:55 4:30 7:05